



「生物多様性を支える市民・地域による戦略的地域づくりビジョン」を策定しました。

中部地方では、都市圏の拡大による緑地の減少、里山の荒廃、放置された人工林の拡大、自然環境の連続性の分断、閉鎖性水域における水質の悪化(赤潮や青潮の発生)、干潟減少等が生物多様性保全上の課題となっており、課題解決のためには市民・地域による活動の広域連携と交流の促進が重要だと考えられます。

このため、平成21年度、主に伊勢・三河湾流域を対象に、社会的共通資本の一つである生物多様性の観点から持続可能な地域づくりを目指す、「生物多様性を支える市民・地域による戦略的地域づくりビジョン」を有識者による検討を経て策定しました(表1 意見交換会委員)。

表1 生物多様性を支える市民・地域による戦略的地域づくりビジョンのための意見交換会委員

片田 知行	中日新聞 岐阜支社長
蔵治 光一郎	東京大学愛知演習生 講師 矢作川森の研究者グループ
清野 聡子	九州大学大学院工学研究院 准教授
関口 秀夫	三重大学生物資源学部 招へい教授
辻 淳夫	伊勢・三河湾流域ネットワーク 代表世話人(代理 亀井 浩次)
丹羽 健司	矢作川水系森林ボランティア協議会 代表
長谷川 修平	南知多ビーチランド 所長
山本 進一(※)	名古屋大学総長顧問 生命農学研究科 教授

・50音順、※は座長を示す。
・委員の他、オブザーバーとして、農林水産省東海農政局、林野庁中部森林管理局名古屋事務所、国土交通省中部地方整備局、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、蒲郡市、一色町、吉良町、幡豆町及びCOP10支援実行委員会から担当者に参加していただきました。

同ビジョンでは、伊勢・三河湾流域における土地利用の履歴を踏まえ、自然環境の現状と生物多様性保全上の課題を整理し、生物多様性の観点から重要な地域「コアエリア」や、コアエリア同士をつなぐ回廊である「ネットワーク軸」を明らかにしました。また、既に始まっている市民・地域による保全活動を取り上げ、「コアエリア」や「ネットワーク軸」との相関関係図も作成しました(図1 伊勢・三河湾流域の生物多様性を支える自然環境等と市民の活動)。

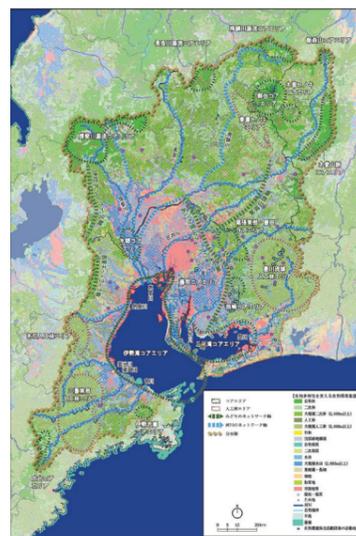


図1 伊勢・三河湾流域の生物多様性を支える自然環境等と市民の活動

そしてこれらの検討を踏まえ、①伊勢・三河湾流域の生物多様性について考えるための場と輪をつくる、②伊勢・三河湾流域の再生に向けて行動する、③伊勢・三河湾流域の生物多様性の保全・再生の仕組みをつくるという、3つの連続する要素から成る目標を示しました(図2 戦略的地域づくりビジョンの3つの目標)。

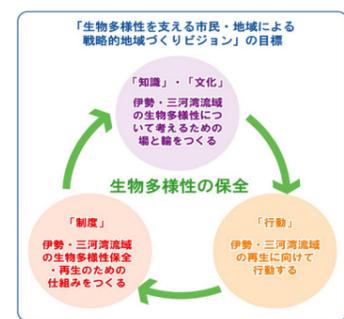


図2 戦略的地域づくりビジョンの3つの目標

ビジョンは中部地方環境事務所のホームページからダウンロード(http://chubu.env.go.jp/to_2010/0518b.html)することができますので、是非ご覧ください。

シンポジウム「伊勢湾 森と海の未来」開催

ビジョンに示された考え方や目標を普及し、実践するための第一歩として、平成22年(2010年)3月6日にシンポジウム「伊勢湾 森と海の未来」(約400名が参加)を開催しました。



基調講演
「社会的共通資本と生物多様性」
宇沢 弘文氏
(東京大学名誉教授・日本学士院会員)

基調講演では、ビジョンの基礎となっている「社会的共通資本」の考え方について、宇沢弘文東京大学名誉教授(日本学士院会員)より講演をいただきました。パネルディスカッション「流域の人と自然がつながるために」では、伊勢・三河湾流域における生物多様性保全と持続可能な利用に向けて既に始まっている取り組みとして、海については亀井浩次氏から藤前干潟を守る会による干潟保全の取り組み、森については丹羽健司氏から矢作川水系森林ボランティア協議会などによる森の健康診断や山里の聞き書きなどの取り組みについて紹介がありました。また、九州大学大学院の清野聡子准教授からは、これらの活動が伊勢・三河湾流域で育まれた「地域の知恵」に根ざしたものであるとの指摘がありました。



パネルディスカッション
「流域の人と自然がつながるために」



シンポジウム宣言の採択

そして、コーディネーターの中日新聞岐阜支社長片田知行氏から、これらの議論をまとめたシンポジウム宣言案が発表され、満場一致で採択、市原中部地方環境事務所長に手渡されました。中部地方環境事務所では今後ビジョンの普及と実践に努めていきます。

グリーンウェイブ2010

毎年5月22日は、国連が定めた「国際生物多様性の日」です。2010年のテーマは「発展と貧困解消のための生物多様性(Biodiversity, Development and Poverty Alleviation)」であり、世界各地において、5月22日を中心に記念イベントを開催することが奨励されています。

また、国際生物多様性の日には、現地時間の午前10時に、世界各地の青少年の手で植樹等を行う、いわゆる「グリーンウェイブ」への参加が、生物多様性条約事務局から広く呼びかけられています。

環境省、国土交通省及び林野庁では、この条約事務局の呼び掛けに応じ、3月1日から5月31日までの期間、「グリーンウェイブ2010」として広く参加を呼び掛けました。

<http://greenwave.go.jp/>



地元企業(ユニー株式会社)などが主催したグリーンウェイブ

民間事業者による生物多様性取組事例調査

COP10の開催に向け、生物多様性の保全と持続可能な利用を中部地方の社会に浸透させ、これを主流化していくためには、民間事業者が生物多様性に配慮した活動に自主的に取り組むことが必要です。

そこで当所では、岐阜、愛知及び三重県の3県に所在する先進的な取り組みを行っている10の中小規模の民間事業者の事例を収集する調査を実施し、その結果をホームページに公表しました。http://chubu.env.go.jp/to_2010/0518a.html

中小規模の民間事業者を対象とした理由は、「中小規模の民間事業者は大規模な民間事業者に比べて、取り組むための資金が豊富ではない、事業活動と生物多様性の関係が理解しにくい」などの声が聞かれたためです。

今回の調査では、右表のとおり第一次産業を含む多様な業種から本業において生物多様性に配慮した活動に取り組む事業者を取り上げ、ヒアリングにより取り組みの詳細を明らかにしました。

事業者名	所在地	業種	主な生物多様性に係る取組
エスベックミック株式会社	愛知県丹波郡	造園業	生物多様性に配慮した森づくり、水辺づくり、都市緑化
イシグログループ イシグロ農材株式会社	愛知県豊橋市	農業支援業	農業の持続的発展を目指した調査やネットワーク運営、食品残さの再利用システム構築
昭和通信工業株式会社	愛知県一宮市	機械工業	RoHS(電子・電気機器における特定有害物質の使用制限についてのEU指令)対応製品の調達
株式会社リバイブ	愛知県弥富市	廃棄物処理業	未利用バイオマス資材(堆肥)の製造
なのはな畑	愛知県江南市	農業	有機農法の実践
フルハシEPO株式会社	愛知県名古屋	木質廃棄物リサイクル	間伐材の木製パレット活用や木質のリサイクルの調査研究
株式会社田幸	岐阜県岐阜市	製造業(繊維)	生分解性(ポリ乳酸)繊維の使用
オークヴィレッジ関連グループ	岐阜県高山市	製造業(木製品)	植林と木製品の販売
有限会社ひぐち	岐阜県各務原市	食品(コーヒー)販売業	サステイナブルコーヒーの取り扱い
有限会社若松屋	三重県伊勢市	食品(かまぼこ)加工販売業	アマモ場の再生を目指した自然観察会等の実施

民間事業者に対するヒアリングのポイント

中小規模の民間事業者が生物多様性に配慮した活動に取り組む際の参考となるよう、取り組み方法やそのメリットを中心に、次の事項について、ヒアリングを行いました。

- ・経営の中で生物多様性への取り組みをどのように捉えチャンスにしているか
- ・社内・社外に対しどのようなメッセージを発信しているか
- ・取り組みによってどのような効果が生まれたか
- ・担当者として社内・社外への働きかけ
- ・外部とのネットワークの作り方
- ・取り組み推進のポイント

有識者に対するヒアリング

生物多様性保全と持続可能な利用への民間参画の分野に詳しい有識者である足立直樹氏(株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役)、石田秀輝氏(東北大学大学院環境科学研究科 教授)及び香坂玲氏(名古屋市立大学大学院経済学研究科 准教授)に対し、中小規模の民間事業者が生物多様性の取り組みを推進するにあたり参考となる先進事例や取り組み方などについてヒアリングを実施し、その結果をとりまとめました。

今回調査で取り上げた事例



小売業における生物多様性に配慮した商品の販売
有限会社 ひぐち



製造業における生物多様性に配慮した部品の調達
昭和通信工業株式会社



学校におけるビオトープの施工
エスベックミック株式会社

中部地方におけるCOP10に向けた動き(6月~9月)

◆第30回全国豊かな海づくり大会

日時: 6月12日(土)~13日(日)

会場: 歓迎レセプション(岐阜市) / 式典行事(関市文化会館) / 放流・歓迎行事(関市池尻の長良川河畔) / ふれあい交流行事(岐阜市、関市) / サテライト行事(県内全市町村)ほか

主催: 豊かな海づくり大会推進委員会、第30回全国豊かな海づくり大会岐阜県実行委員会

後援: 環境省、農林水産省
※中部地方環境事務所ブース出展予定

◆カウントダウン100(COP100日前イベント)

日時: 7月10日(土)~11日(日)

会場: 10日 国連大学(東京) / 11日 国際会議場(名古屋)

主催: CBD市民ネットワーク

共催: 環境省(東京) / 中部地方環境事務所(名古屋)他

◆生物多様性国際ユース会議 in 愛知 2010

日時: 8月23日(土)~27日(金)

会場: 会議(23~26日): あいち健康プラザ等
発表会(27日): 名古屋大学豊田講堂

主催: 環境省

共催: 外務省、愛知県